

臨時号
〈令和7年1月発行〉

令和7年

本年もよろしく
お願いいたします

千曲・坂城地域 自立支援協議会だより

編集・発行 千曲・坂城地域自立支援協議会

事務局 千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター

住所 千曲市戸倉2388番地 千曲市ふれあい福祉センター2階

TEL：026-275-0548

FAX：026-214-3013

E-mail：cs-soudan@bh.wakwak.com

URL：http://cs-soudan.pupu.jp/

今回は
『全体会』の様
をまとめた
臨時号だよ♪

令和6年度 自立支援協議会

全体会が

令和6年11月29日(金)

戸倉創造館 大ホールにて 開催されました！

千曲、坂城地域自立支援協議会
では障がい福祉の理解と関心を
深めることをめざして
『全体会』を開催しています。

テーマは **だれもが暮らし良い やさしい町を目指して**
～ ONE TEAM みんなでつくろう地域の WA !!～

160名ほどの方にご来場いただきました。

初めての戸倉創造館での開催となりました。

ギャラリーでの事業所の販売はマルシェのように
素敵で来場された方をお出迎えしました。

サブテーマにある言葉 ” ONE TEAM (ワンチーム) ”

今回、安里先生をお迎えでき、医療の分野(チーム)と福祉の分野(チーム)が出会えました。

それぞれのチームが協力し ” ワンチーム ” になれば、との想いで決定しました。

第1部講演会の演題は『在宅診療から見る 地域の可能性』でした。

在宅医療とは・・・

高齢になっても、病気にかかったり障がいがあっても、住み慣れた地域で
自分らしい生活が続けられるよう入院医療や外来医療、介護、福祉サービス
が互いに補完(足りない点を補って完全にすること)しながら、患者の日常生活を
支える医療である・・・

講演会では、地域のミライの話、在宅医療のふしぎな話・無限の可能性、を
3つの柱とし、在宅医療についてとてもわかりやすくお話しいただきました。
そして、第2部では、医療、介護、福祉、それぞれの分野の方たちと
「安心して暮らせる地域」についてのトークセッションが実現しました。

安里 龍一先生 (千曲市出身)



いろいろどりの診療所院長
在宅医療・総合診療科(家庭医)

「生まれ育ち、生活してきた
この地域で大切な人と過ごす
そんな希望を叶える在宅医療の
診療所を令和6年5月に長野市
篠ノ井に開設されました



第1部 講演会 「在宅診療から見る地域の可能性」

安里先生の気さくな笑顔でやさしい雰囲気の流れの中、講演が始まりました。講演の中では、在宅診療とはなにか？その意義や目的といったところから、具体的なデータを踏まえたうえでの医療の未来についての話まで、時折ユーモアを交えつつ、安里先生の熱い想いをお話しいただきました。みんなが幸せに過ごせる地域を作っていくために…それぞれが自分の得意分野を使ってチームを作りながらゴールを目指していく。各分野の垣根を越えて、手を取り合いながら支援をしていくことの大切さを改めて学ばせていただきました。

第1部の感想

在宅医療について…

「よく理解できた」「考え方が変わった」「実例をもっと聞きたい」
「診療が広がり当たり前になると良い」「大切さがしみじみ感じた」
「無限の可能性があると感じた」「ますます医療×福祉が重要となる」
「確かに…私のおじいちゃんは家で亡くなりました」

- 先生の優しさ、熱い気持ち、が伝わりました。
- 地域に安里先生がいることを心強く感じました。
- 「ダメよ、ダメダメ」の制限でなく「これでいいのだ」が印象に残った。
- 病気になる前に関わり、その人の望む生活を支える支援をしていきたい。



第2部 トークセッション

医療、保健、福祉…各分野でご活躍されている方々にご登壇いただき、安里先生も交えて「安心して暮らせる地域づくりについて考える」をテーマに、トークセッションを行いました。

それぞれの方が地域の中で実践してきた中から、地域とのかかわりの中での好事例、各分野の垣根を超えた連携の難しさ、これから地域と連携しながら幸せな地域にしていくためにどうしたら良いか等、各分野から様々な視点での意見が挙げられ、活発なトークセッションとなりました。トークセッションの中でも「顔の見える関係性」というワードがたびたび登場しましたが、地域を巻き込みながら顔見知りを増やしていくことが『安心して暮らせる地域』に繋がってくるのかもしれない。



～ トークセッション メンバー ～ (左2番目より)

- 安里 龍一氏 : いろいろどりの診療所
- 大須賀 貴代子氏 : 坂城町地域包括支援センター
- 米澤 佑亮氏 : 千曲市保健センター
- 工藤 誠氏 : ニチケアセンター戸上
- 中島 直美氏 : 稲荷山太陽の園
- 安藤 正幸氏 : 自立支援協議会
- 〔進行〕 中澤 範子氏 : 基幹相談支援センター

第2部の感想

- 地域ぐるみで顔見知りの輪を広げることが大事だと思った。
- それぞれの分野の方々から貴重な考えや意見が聞けて良かった。
- 顔を合わせる地域づくり、これからの世の中の課題だと思います。
- 人とのつながり、地域との関わりを意識したい。
- 地域を”巻き込む力”が印象に残った。
- 平等の意味を考えさせられる内容だった

販売会♪

9事業所が出展された創造館のギャラリー。
いつもの雰囲気とは違う空間になりました。
開演前と休憩時間での販売に多くの方が来場され
お買い物されていました。
事業所の皆さんもお買い物される方も笑顔いっぱい♪

「たくさんの製品がならんでいて楽しかった」
「楽しそうに販売している人が多くて元気が出た」
「抽選会で紹介された商品もリンクして楽しい」
「見かけたらまた買いたい」
などの感想が寄せられました。

開演前の会場内では、各事業所の紹介スライドも流され、
多くの方に知っていただく機会となりました。



《 出展、景品提供していただいた福祉事業所 》 *五十音順

いなりやま共同作業所・クロスロード（寂蒔/上山田）・CoCoレスト・坂城町地域活動支援センター
チューリップの家・ともいきライフ月影・ポスケット・まごころクロレ・満天の星・みらい望

抽選会♪

昨年、初のチャレンジで好評をいただいた”抽選会。

今回は、11事業所にご協力いただき、34個の「どれも欲しくなってしまう♪」景品が揃いました。
当選発表の前に景品と事業所の紹介を行ない、次々とスクリーンに映し出される魅力的な景品にみなさんの
気持ちが高まったところで…当選番号の発表！となりました。

受付で「あたるかなあ」「ドキドキする」等、楽しそうにくじをひいてくださった皆さま、結果は!?

全体会終了後、スタッフからの「おめでとうございます!」の拍手の中、当選者の方に景品をお渡ししました。
「くじの抽選会、楽しめました」との感想もいただきましたが、残念・・・だった方にも
”わくわく”を楽しんでいただけましたら幸いです。



抽選会の景品♪



デコレーション
タンブラー



千曲染めハンカチ



あぶらとりとり
コースター
クリップセット



ハーバリウム
・アロマグッズ



クッキー詰合せ



クッキーと
コーヒーのセット



オリジナルだるま



さくさくせんべい



手っ甲、小銭入れ
鍋敷きセット



ソルガム
刺し子ふきん
パン無料券セット



お米 1kg

どれも
手作りだなんて
すごいなあ!



全体会の開催に関わってくださった皆さまと

ONE TEAM に！

普段は別の事業所で活躍されている皆さんが開催に向けて一緒に取り組めることも全体会の醍醐味です！！



司会・進行チーム！ いつも頼りになるP(駐車場)チーム！

安心してお任せ♪

雨の中、誘導してくれました♪



1部・2部チーム！

たくさんお話しいただきました♪



受付・抽選チーム！

160名ほどの参加者に対応♪



販売会チーム！

準備万端、宣伝もばっちり♪



ご来場者チーム！

大勢ご参加いただきました♪



会場係・裏方チームも！

真剣に打合せ！

82作品が
出展されました！
時を忘れて見とれ
ちゃいます♡



さん・さんネット部会主催

「さんきゅーあーと展」のお知らせ

● 坂城町会場

1月14日(火)午後～1月26日(日) 好評をいただきました♪
【坂城町文化センター コミュニティホール(2階)】

● 千曲市会場

2月3日(月)午後～2月16日(日)
【千曲市役所 ガレリア】 お待ちしています♪

編集後記

皆さんは、寒い季節といえば何を思い浮かべるでしょうか？私はなんといっても『鍋』です。最近では色々な味のスープも出ていますが、やっぱりシンプルな味が一番。

日本酒好きな私にとっては、『日本酒と鍋』は個人的に最強の組み合わせだと思っています。

日本酒は11月中旬頃から新酒が出始めますが、その年の気温や米の出来具合など、ちょっとした変化で、同じ銘柄でも毎年少し違った味わいになります。「生きているお酒をのんでいるなあ」と感じる瞬間です。

特に、なかなか新酒の時期でしか飲めない発泡系のお酒がオススメです。

つつい食べ過ぎたり飲みすぎてしまう時期ですが・・・

体重と相談しながら美味しいものをたくさん食べて寒い時期を乗り越えたいですね！ (本多)